

生ごみ専用スマートダストボックスの開発状況について

- ・市川市では、ごみ減量と資源化を推進するために、これまでも様々な施策を実施し、循環型社会形成の推進を図っている。
- ・今年度から、新たな資源化策として、燃やすごみに約4割含まれている、生ごみの資源化を検討している。
- ・資源化方法は、生ごみを分別収集し、焼却せずにメタン発酵させ、発電を行うことを検討している。
- ・このたび、生ごみ専用のスマートダストボックス試作機製造の優先交渉権者が決まったため報告を行うもの。

【イメージ図と主な機能】



【導入スケジュール】

- ・今年度中に複数台が納品予定。
- ・令和2年度 公共施設等に数台を設置し、実証事業を実施。
- ・最終的に300台の設置を予定。
- ・資源化率の向上、焼却処理量の削減により低炭素社会の実現を目指す。